

令和3年度 第一回横浜市勤労者福祉共済運営審議会会議録

- 《日 時》 令和3年11月29日(月) 10時00分～12時00分
- 《開催場所》 横浜市役所18階 会議室
- 《出席者》 柴橋会長、石田副会長、石原委員、平野委員、花本委員、磯上委員、窪田委員、鈴木委員、中山委員
- 《欠席者》 沢田委員、齋藤委員、中村委員
- 《開催形態》 公開(傍聴者0人)
- 《議 題》 (1) 令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について
(2) その他
- 《決定事項》 (1) 令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)の承認。
(2) 会議録確認は、磯上委員が行う。

《議 事》

【開 会】

(事務局) 定刻になりましたので、ただ今から、令和3年度第1回「横浜市勤労者福祉共済運営審議会」を開催いたします。

【出席委員数報告】

(事務局) 本日御出席いただいております委員数を報告いたします。現時点で、12名の委員のうち、9名の委員に御出席いただいております。したがって、横浜市勤労者福祉共済条例第16条第2項に規定されている半数以上の定足数を満たしており、本審議会が有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、本会議の傍聴者はございません。

併せて、前回「令和2年度第2回横浜市勤労者福祉共済運営審議会」の会議録について、花本委員に御確認いただいておりますことを御報告申し上げます。

【議 事】

(事務局) それでは、これより議事に入らせていただきます。

それでは、ここから後の議事の進行は、柴橋会長にお願いいたします。柴橋会長、よろしくお願ひいたします。

(会長) それでは、ここからは私が議事を進めさせていただきます。

まず会議録の確認につきましては、「審議会運営要領第6条第2項」により、審議会があらかじめ確認者を指名して、確認を得ることができるものと規定されております。事務局から、こ

れまで順次確認をお願いしていた旨、伺っておりますので、私から本日の審議会の会議録確認者の提案をさせていただいてよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長) それでは、会議録確認者には、磯上委員を指名いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし

(会長) それでは、よろしくお願ひいたします。議事(1) 令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について」について、事務局から説明願ひます。

(配付資料に基づき、令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について事務局から説明)

(会長) それでは、ただ今の議事(1)「令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について」、御意見、御質問などがございましたら願ひします。

(委員) 事業概要の給付事業について、加入褒賞金は5年・10年・15年で終わっていますが、20年・25年というのはいかないのでしょうか。

(事務局) 検討させていただきます。

(会長) 15年以上の会員がどのくらいいるかというデータはございますか。

(事務局) データとしてはもっています。数としてはかなりいらっしゃいます。

(会長) 予算などを踏まえて検討いただければと思います。

(事務局) 検討させていただくのと同時に、手続きも必要になってくるかと思われまので、次回相談させていただければと思います。

(会長) その他にもご意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

(委員) 会報誌以外に、Twitter など新しい媒体でも発信をされており、コロナ禍の「お家時間」において非常に良いサービスができていると思います。そのような中、HPのセキュリテ

イに関して改善をしているとのことですが、事故などあったのでしょうか。

(事務局) 特に発生はしていません。

(委員) 今後スマホサイトに移行した場合、色々と問題が起りかねないので、今後もご注意いただければと思います。

コロナ禍においてどのようにオンラインでサービスをしようかなど舵取りは大変かと思いますが、商店向けなど、ぜひポジティブなサービスをお願いできればなと思います。

(委員) 私もオンラインセミナーをいくつも利用させていただいており、ぜひ内容をもっと拡充いただければなと思っています。

またホテルのランチ補助が人気があったということで、今の時代、夜よりも昼の食事のニーズがあると思いますので、引き続きこういった企画をしていただければと思います。

あと、事務的なお話ですが、60才になる会員への永年勤労祝品の発送通知は、60才の誕生日月にあります。会社によっては課税処理が間に合わない場合があると思われます。通知のタイミングを早めるか、今年度この会員に発送予定ですというリストを事前にいただくことはできないのでしょうか。

(事務局) イメージとしては、年度の初めにリストを出す様な形でしょうか。

(委員) そのような形だとありがたいです。今年度この月に発送するかもしれませんよといったリストがあると、給料処理担当者の課税処理漏れがなくなりうれしいなと思います。

(事務局) 実施の場合、システムの改修は不要ですが、現行の圧着ハガキの内容が変わるので、圧着ハガキをやめて、通常の紙で印刷するという形をとれば準備はできるかなと思います。検討させていただきます。

(委員) 説明の中で、会員数は年々増えているが、事業所数は減少傾向にあるとのことでした。従業員数の多い企業の加入によるものとのことでしたが、小規模な企業の脱退の要因としては、どんなものがあるのでしょうか。

(事務局) 事業所の閉鎖、破産や業務繁忙で使う時間がないという理由が多いです。コロナの影響としては、売り上げ減という理由もあります。大きな企業からは、福利厚生費に充てる予算がないため一旦縮小するという理由もありました。

(委員) 2点伺います。インスパの横浜が当たったが、半年という期限までに行くことができませんでした。コロナの期間においては、もっと長めに期限を設けることはできないのでしょ

うか。

また会員数の話があったが、会員数は増えた方が良いのか、そこが見えませんでした。企業であれば事業計画で何年先にこれくらい目指そうというものがあります。もし増やすのであれば、Twitter で事業所の会員様向けのことに加え、もっと増強するための施策をしてもよいのではないかと思います。何かあるのでしょうか。

(事務局) 1点目のお話ですが、サービスを提供して下さる会社の状況で交渉しながら期限を伸ばせないかと話をしています。ものによっては、ここまでしか延長は難しいということもあるため、今回のインスパについては半年という期限になりました。コロナ禍の中で、期限を伸ばすための交渉はしていますが、フォローが及ばなかった部分については申し訳ありません。

会員数については、増えれば増えるほどよいと考えています。市内の中小企業は7万事業者ほどあり、現在の会員が4000企業なので、まだまだいけるなどと考えています。

現状計画というものは立てていませんが、会員が増えれば増えるほどサービスの中身を豪華にしたり、皆さまから「こういったことをやりたい」というお声があったときにそれを実現できたりもします。

現状、会員数は過去最高を記録しており、コロナで残念な部分はありましたが、ベイスターズや劇団四季などは、他の福利厚生と比べても、できないようなことができていると思っています。会員数が増えてきたからできたことだと思い、ぜひ今後も増やしていければと思っています。

(委員) だとしたら、そういうところにもっと力をいれた予算の組み方にするということもあると思うのですが。

(事務局) もちろんです。加入促進がこれでは不十分だということがあれば、もう少し加入促進にお金をかけるなど、そういうこともご意見いただき実施できればと思っています。

(会長) ターゲットは、横浜市内の中小企業約7万社、加入者は約4000社ということですが、これについて、加入率をデータとして出し合うのはいかがでしょう。

(事務局) 実は他市共済の加入率は教えてもらえないもので、自分の市の分しかわかりません。予算の歳入歳出に直結する話なので、会員みんなが使った場合には、この会費ではもたず、会費を上げなくてはなりません。収支について、どこがいいのかということは決まっていますが、逆にご満足をいただけなかったら会員の退会につながりますので、満足いただけるサービスをきちんと作っていくことが大切だと考えています。

(委員) ギフト券、宿泊補助について、不透明な部分が多いですが Go To キャンペーンとの兼ねあいで、併用するかなど事前に検討をいただければと思います。

(事務局) 去年については併用できていました。報道されている通り、いつ始まるのか不透明な状況ではありますが、情報は常に入手していますので、可能なものはぜひ連携したいと思っています。

(委員) 会報誌を送っていただいているが、忙しくて利用できないことが多いので、今回のお話を聞き、もう少し積極的に利用してみようという風に思いました。

(委員) 次年度の予算で、審議会のWEB開催運営費ということで予算化されていますが、今後はWEB開催での会議を想定しているということですか。

(事務局) そうです。今年の7月に予定していた審議会が、緊急事態宣言により開催できなかったのも、今後万が一そのようなことになったとき、場合によっては開催ができるようにしています。次からはWEBです、ということではありません。できれば対面の方が、意見を交換しやすいのかなとは思っています。

(副会長) 横浜市を中心にいろんなイベントや食事券などやっていただいているのですが、私が一番嬉しかったのは、自分が住んでいる地域を取り上げていただいたことです。私は県内他都市に住んでいますが、可能であれば、もう少し横浜市中心だけじゃない県内観光地で使えるものも充実させていただけると嬉しいなと思いました。

(会長) 委員の皆様、非常に参考となる御意見、ありがとうございました。本日いただいた御意見について、少しでも取り入れることができるものがあれば、取り入れていただければ幸いです。

それでは、議事(2)「その他」について、何か御意見がありましたらお願いいたします。

(「レシ活チャレンジ」について事務局から説明)

(会長) 他に御意見、御質問がないようでしたら、議事は全て終了とし、事務局に進行をお戻しいたします。

(事務局) 本日は、貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。
なお、次回の審議会につきましては、
「令和3年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績」等を議題として、6月下旬に開催を予定しております。よろしくお願いいたします。
以上でございます。

◀ 資 料 ▶ 議事（1）令和4年度横浜市勤労者福祉共済事業計画（案）について